

総合臨床教育・研修センター

Integrated Clinical Education Center

総合臨床教育・研修センター長

松田 秀一



優れた技術と優しい心を育む

当センターは、医師、歯科医師、看護師、その他メディカルスタッフの卒前卒後の教育について一貫性を持ち、統一して実施するために設置された。主な任務は下記の通りである。

- ①医師、歯科医師の卒後臨床研修プログラムの運営・管理
- ②指導医講習会、臨床研修関連セミナー等の企画・運営
- ③メディカルスタッフ研修の運営・管理
- ④緩和ケア研修会、ELNEC-Jなどの企画・運営
- ⑤医学教育用シミュレータの貸出・管理

業務内容の特徴と実績

沿革と体制

2004年4月施行の「新医師臨床研修制度」に対応する組織として、同年1月に「卒後臨床研修センター」が設置された。さらに翌年4月には「総合臨床教育・研修センター」として組織改編し、歯科医師の卒後臨床研修、メディカルスタッフ研修の受入業務も開始。院内全体の教育統轄部門として年々活動範囲を拡大し、人間性豊かな医療人育成をめざし取り組んでいる。

①医師、歯科医師の卒後臨床研修プログラムの運営・管理

当院では、医師の卒後臨床研修として6つのプログラムを設置。2013年度からは協力病院における救急研修も可能にし、一層自由度の高いプログラムとして充実を図っている。2014年3月には、57名の修了者を輩出した。

また、歯科医師臨床研修プログラムにおいては、1年間のプログラムとし、京大病院または協力病院にて研修を行っている。2014年3月には7名が修了した。

②指導医講習会、臨床研修関連セミナー等の企画・運営

臨床研修の指導方法等に関する知識・技能の習得を通じた指導能力の向上と、京大病院および関連病院の臨床研修体制の充実と質的向上を図るため、2013年度も2回(9月と2月)指導医講習会を実施、計69名の修了者を輩出した。

その他、院内の教育統轄部門として他職種を対象とした研修を開催し、安全で質の高い医療の提供に向けて取り組んだ。また、前年度に続き京都府地域医療支援センター京都大学ランチ事業補助金を得て、地域シンポジウムや医療職を対象とした研修を開催した。

③メディカルスタッフ研修プログラムの策定

看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士・作業療法士、栄養士、臨床工学技士、精神保健福祉士、医療ソーシャルワーカー、視能訓練士等における学生実習と有資格者のスキルアップ講習を受け入れている。昨年は計1,416名が参加。今後、各々のコースの充実を図る予定である。

④緩和ケア研修会、ELNEC-Jなどの企画・運営

がん拠点病院としてがん医療の均てん化を図るため、がん医療に関する教育に力を注いでいる。京都府下の医師を対象とした緩和ケア研修会のほか、京都府および京都府立医科大学附属病院、さらに京都府下のがん看護専門看護師・認定看護師と協同し、質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアを目標とした看護師対象の研修ELNEC-J(End-of-Life Nursing Education Consortium-Japan)を開催している。

⑤医学教育用シミュレータの貸出・管理

卒前卒後の一貫性のある教育、医療安全、質の高い医療の提供をめざし、学内全体を対象に医学教育用シミュレータの貸出とそれらを用いたトレーニングを行っている。2013年度は、前年度より多い341件の利用があった。京都府地域医療支援センター京都大学ランチ事業補助金を得て、主に京都府下の研修医を対象としたシミュレーション研修を開催した。また、院内の新人看護師指導者におけるファシリテータの育成を本格的に開始した。



京大病院Grand Roundは毎月1回昼休みに各診療科が持ち回りで担当し開催している。研修医、医学部生が主な対象で研修医による症例発表と上級医のミニレクチャーが行われている。最近では医師のみならず看護師、薬剤師、医師クラーク、事務職員と多彩な職種の参加がある。